

メキシコと聞いて思い浮かべるものは何ですか。タコスやテキーラなどのメキシコ料理、カンクンやアカプルコのビーチなど、色々あると思います。日本から16時間かかる遠い国メキシコですが、2005年には日本・メキシコ経済連携協定が制定、2009年には日本・メキシコ交流400周年を両国で祝うなど、意外に接点が深い日本とメキシコです。

そんなメキシコに住み始めて9年、そのきっかけは聖マリアで習ったスペイン語でした。英語以外の外国語を習いたいと思っていた時に会ったスペイン語は、スペインだけでなくブラジル以外のラテンアメリカの国々で話されている話し手の多い言語です。また、アメリカにおけるヒスパニック（米国に住むスペイン語を母語とする人々）の割合は、アフリカ系アメリカ人（黒人）が占める12%を上回る12.5%に達しています。聖マリアで接したこのスペイン語をもっと知りたいと思い、推薦入学で上智大学のイスパニア語学科に入学しました。現在、メキシコ国立自治大学の外国語センターでメキシコ人に日本語を教えています。この大学での日本語学習者は一学期に300人に上り、月曜日から木曜日、毎日2時間の授業にむかう生徒たちは勤勉で、学ぶ意欲を感じます。メキシコにおける日本ブームはアニメ、マンガ、日本料理だけでなく、歌舞伎、文楽、浮世絵などの日本文化もよく知られています。メキシコの一番の魅力はそこに住む人たちだと思います。日本人と同じ蒙古斑を持ち、モンゴロイド系だと推定されるマヤ人を先祖に持つメキシコ人は、スペインからの征服者との混血、イタリアなどヨーロッパからの移民との混血により顔つきも肌や髪の色も多種多様ですが、そのお陰で他人種、たとえばアジア人に対する差別がなく、他者を受け入れる土壌があると思います。メキシコの人々はとても気さくです。外部の人間を心から受け入れる寛容さに満ちた国、「アミーゴ（=友達）の国」です。他者を受け入れる、尊重するという聖マリアで習った精神をここメキシコで感じています。この基本の精神の大切さ、難しさを実感しながら、まだまだ出てくるメキシコの魅力を楽しんでいきたいと思っています。